

快適に使用していただくために

取扱説明書




シャレオ伸縮 キャスティナ伸縮

もくじ

1.安全のために必ず守ってください	1
2.各部の名称	3
3.使用方法	4
3-1 錠の操作方法	4
3-2 落とし棒の操作方法	5
3-3 施錠・解錠方法	6
3-4 回転収納の操作方法	6
3-5 家側の施錠・解錠方法の変更	7
3-6 ご注意とお願い	8
4.お手入れについて	8
5.修理	9

この取扱説明書の内容は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様の危害や損害を未然に防止するためのものです。

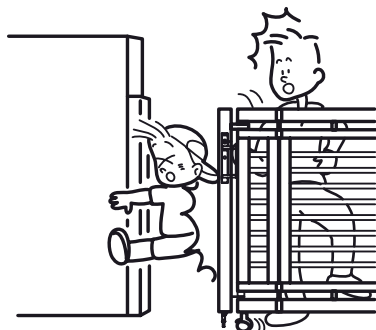
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。

安全に関する記号	記号の意味
 警告	取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
 注意	取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれがある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。
お願い	取扱いを誤った場合に、製品の損傷または故障のおそれがある内容を示しています。
 補足	説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

●製品を安全に正しくお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書を最後までお読みください。お読みになったあとは、たいせつに保存してください。

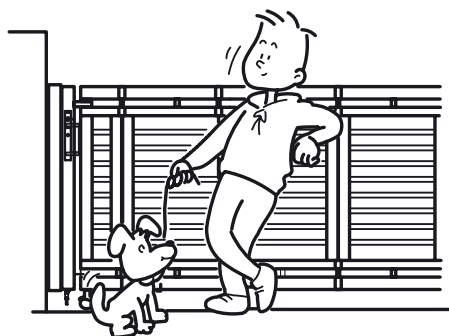
1 安全のために必ず守ってください

⚠ 注意



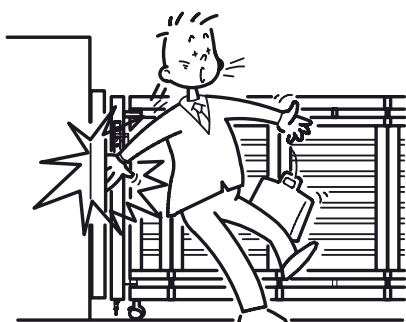
- 開閉操作をする前に周囲に人がいないこと、および物がないことを必ず確認してください。扉にはさまれたりぶつかったりして、ケガをするおそれがあります。特に、お子様の飛び出しなどに注意してください。

⚠ 注意



- 門扉に乗ったり、ぶらさがったり、寄りかかったり物をのせたりしないでください。門扉の破損や、転倒・転落してケガをするおそれがあります。

⚠ 注意



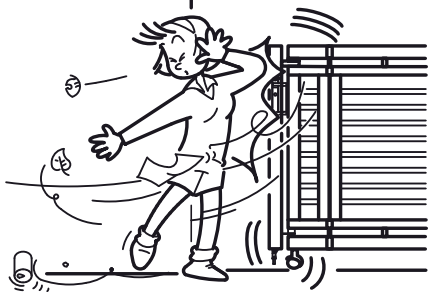
- 門扉を開閉するときは、門柱と扉の間や、扉と扉の間に手足や衣服をはさまないように注意してください。特に小さなお子様には注意してください。また、風の強いときは、急に開閉しますので注意してください。

⚠ 注意



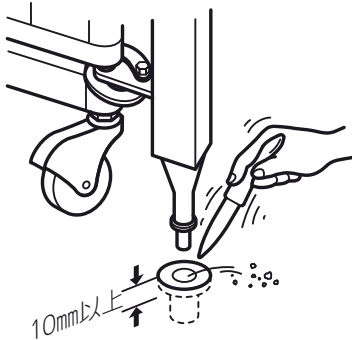
- 門扉を閉めた状況にしておくときは、必ず施錠し落し棒をおろしてください。また、台風などの暴風時には門扉をたたみ、柱と門扉をロープなどで縛ってください。強風で扉が開き、人に当たるおそれがあります。

! 注意



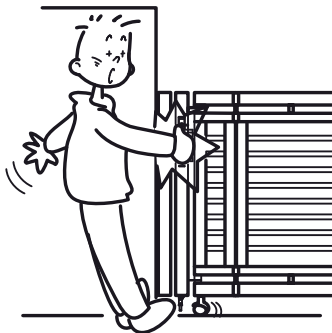
- 門扉を開いた状態にしておくときは、必ず落とし棒を下げ固定してください。強風で扉が動き、人に当たるおそれがあります。

! 注意



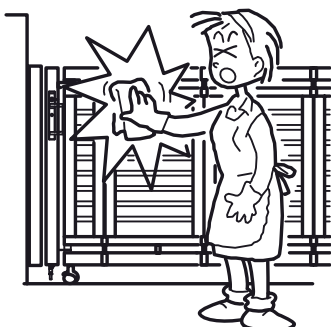
- 落とし棒付の門扉では、落とし棒受けの土砂を掛かりが10mm以下になる前に取除いてください。落とし棒のかかりが浅いと強風で扉が動き、人に当たるおそれがあります。

! 注意



- 門扉の開閉の時は必ず落とし棒を上げてから操作してください。門扉が破損し破損した端部でケガをするおそれがあります。

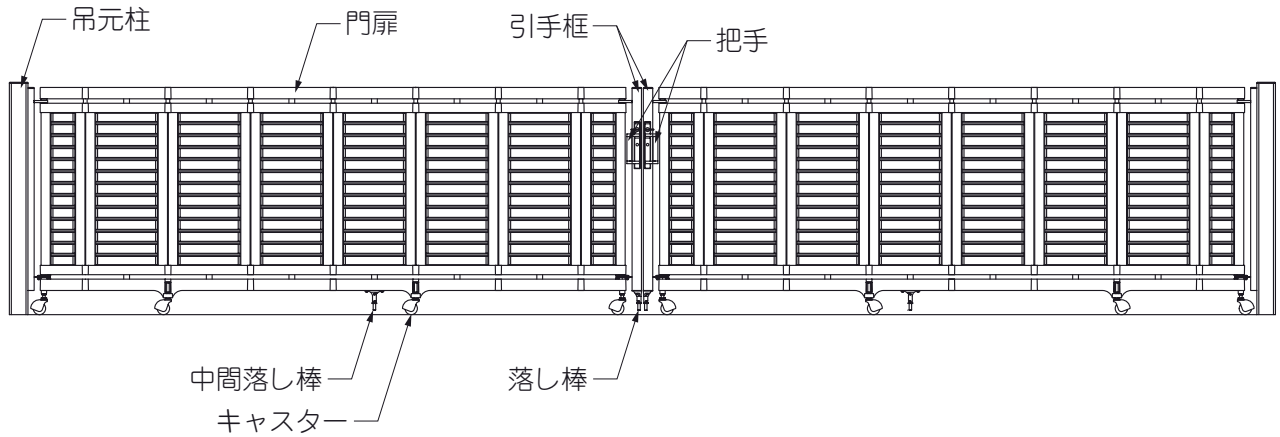
! 注意



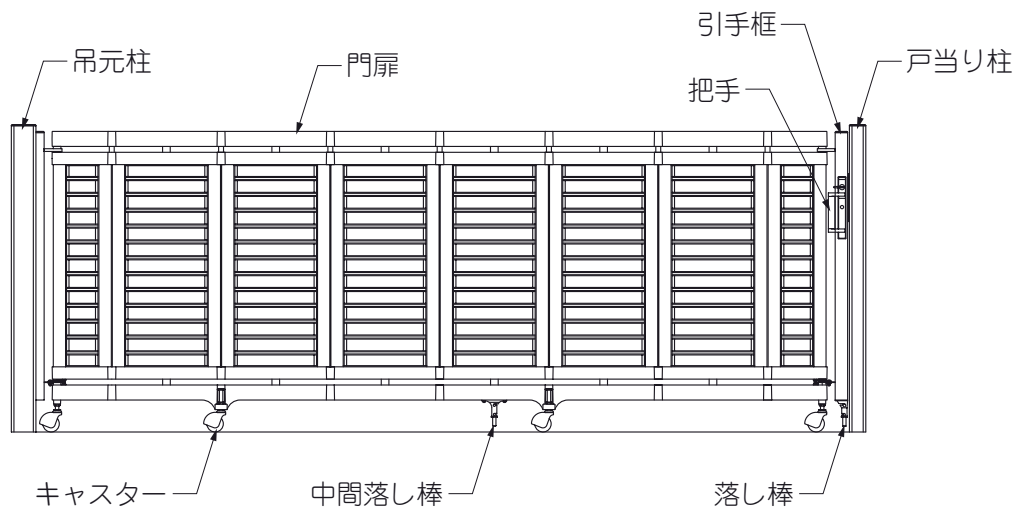
- お手入れで扉を拭き掃除するときには手袋等を着用し、部材の端部等で手指を切らないように注意してください。

2 各部の名称

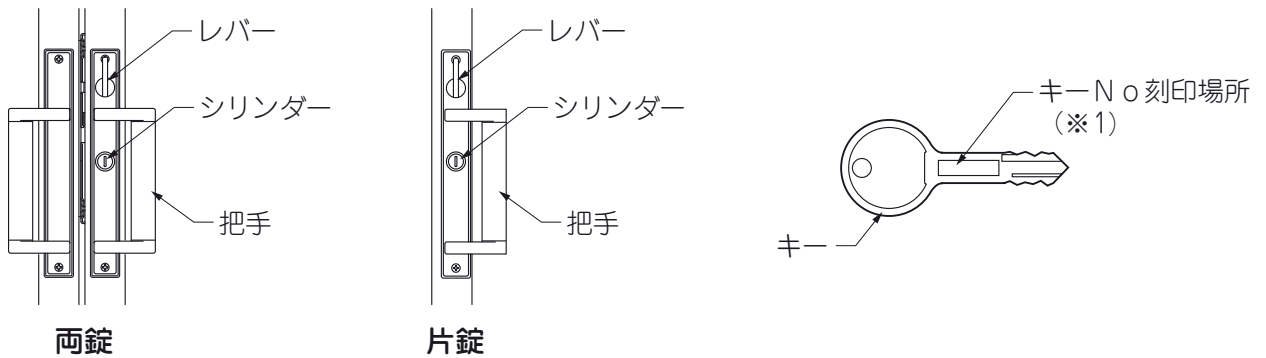
(1) 両開き ※図は道路側から見たシャレオ伸縮1型を示します。



(2) 片開き ※図は道路側から見たシャレオ伸縮1型を示します。



- (3) 錠 ※図は道路側から見た場合を示します。
 ※左右の勝手が違う納まりもあります。

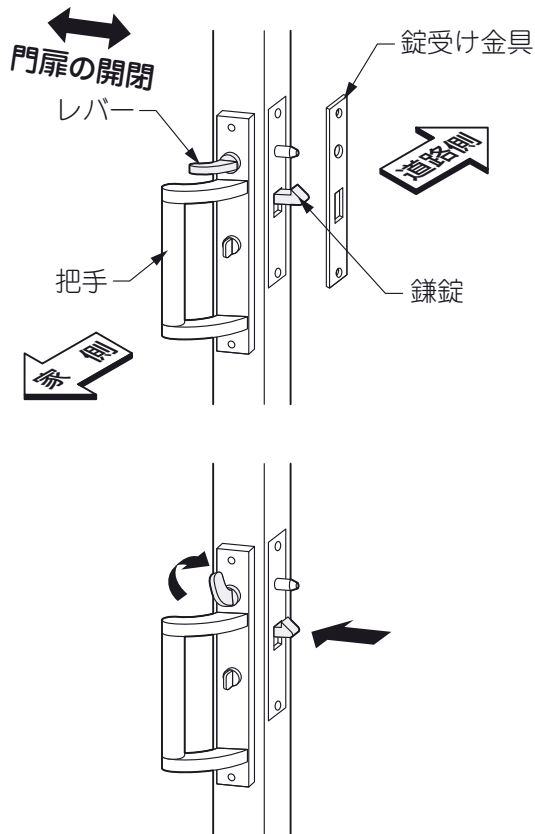


補足

- 本製品付属のキーにはキーNoが刻印されています。キーNoを「5 修理」の欄に控えてください。キーNoは、キーの作製時に必要です。(※1)

3 使用方法

3-1 錠の操作方法



- ①把手を握りレバーを下げると、錠錠が外れ、そのまま引くと門扉が開きます。
- ②門扉を閉めるときは把手を持ち錠錠が錠受け金具に納まるように閉めます。
- ③レバーを90°上へ回すと錠錠が引き込まれ、遊びがなくなります。

お願い

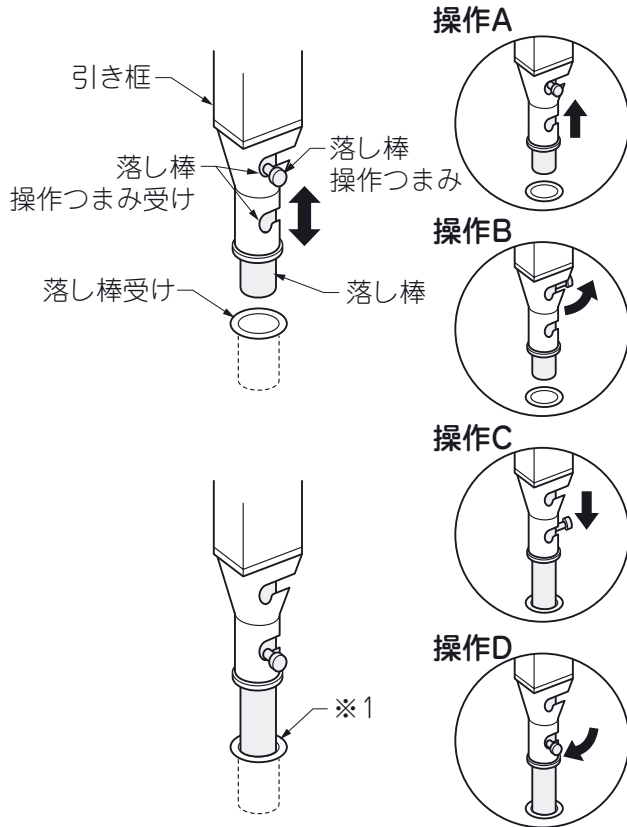
- 門扉の開閉を行なう際は必ず落し棒が外れていることを確認してください。(「3-2 落し棒の操作方法」参照)

補足

- サムターンで施錠しているとき(「3-3 施錠・解錠方法」参照)は、門扉の開閉はできません。
- 図はシリンダーが左側にある場合を示します。

3-2 落とし棒の操作方法

(1) 落とし棒の操作方法

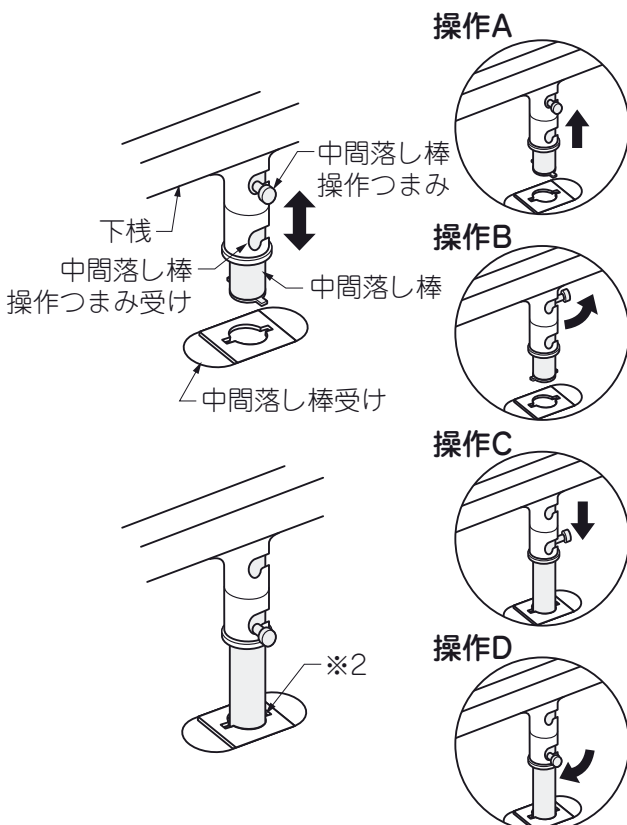


- ① 落とし棒を操作するには、落とし棒操作つまみを一旦引き上げます。(操作A)
- ② 落とし棒操作つまみを90°回して落とし棒操作つまみを受けの上の溝から外し、落とし棒を下げます。(操作B、C)
- ③ 落とし棒が落とし棒受けに納まったら、落とし棒操作つまみを90°回して落とし棒操作つまみ受けの下の溝に固定します。(操作D)

お願い

- つまみを元に戻さないまま門扉を開閉すると、落とし棒や門扉が破損するおそれがあります。
- 門扉を固定する場合は、落とし棒が落とし棒受けに入っていることを確認してください。(※1)

(2) 中間落とし棒の操作方法



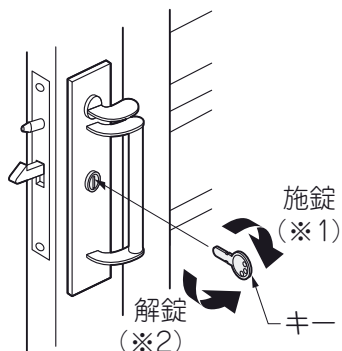
- ① 中間落とし棒を操作するには、中間落とし棒操作つまみを一旦引き上げます。(操作A)
- ② 中間落とし棒操作つまみを90°回して中間落とし棒操作つまみを受けの上の溝から外し、中間落とし棒を下げます。(操作B、C)
- ③ 中間落とし棒が中間落とし棒受けに納まったら、中間落とし棒操作つまみを90°回して中間落とし棒操作つまみ受けの下の溝に固定します。(操作D)

お願い

- つまみを元に戻さないまま門扉を開閉すると、中間落とし棒や門扉が破損するおそれがあります。
- 門扉を固定する場合は、中間落とし棒が中間落とし棒受けに入っていることを確認してください。(※2)
- 中間落とし棒には抜け止め機能がついていますので中間落とし棒を中間落とし棒受けに納めるときは中間落とし棒の向きを確認してください。

3-3 施錠・解錠方法

(1) 道路側 ※図は、外観右勝手の場合を示します。

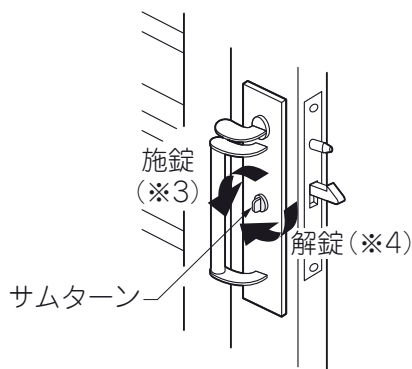


①キーで施錠・解錠するには、表3-1にしたがって操作します。

表3-1 キーの操作

	右勝手	左勝手
施錠(※1)	時計回り	反時計回り
解錠(※2)	反時計回り	時計回り

(2) 家側 ※図は、外観右勝手の場合を示します。

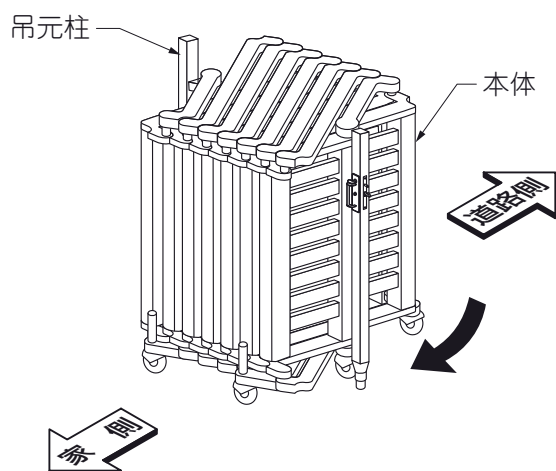


①サムターンで施錠・解錠するには、表3-2にしたがって操作します。

表3-2 サムターンの操作

	右勝手	左勝手
施錠(※3)	反時計回り	時計回り
解錠(※4)	時計回り	反時計回り

3-4 回転収納の操作方法

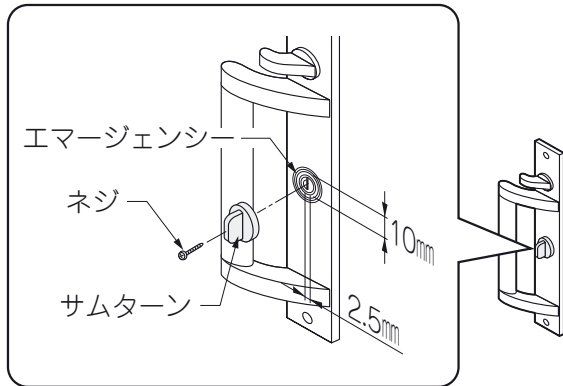


①回転収納するときは門扉を折りたたみ、吊元柱を中心に本体を家側に回転して収納します。

お願い

- 門扉を回転収納したときは必ず落とし棒を下げ、固定してください。

3-5 家側の施錠・解錠方法の変更



- ①出荷段階では、家側にはサムターンが付いていますので、手で施錠・解錠の操作が行えます。
- ②中央のネジをゆるめ、サムターンを取外します。これで「エマージェンシー機構」に変更することができます。
- ③「エマージェンシー機構」にすると、キーの先端やコイン、マイナスドライバーなどの道具がないと施錠・解錠の操作はできません。

⚠ 注意

- エマージェンシー機構は、いたずらをおある程度抑止できますが、部外者の解錠操作を完全に防止するものではありません。

✎ 補足

- エマージェンシー機構に変更すると、家側の施錠・解錠操作が素手ではできなくなり、外側から手を伸ばして解錠する、等のいたずらを制約することができます。
- 「エマージェンシー機構」で施錠・解錠するには、2.5mm×10mm幅の溝に入るキーの先端やコイン、マイナスドライバーなどを差込んで回転してください。

3-6 ご注意とお願い

⚠ 注意

- 部品に異常や不具合が生じた場合は、勝手な分解や調整をせずに、お買いあげの販売店（工事店）にご相談ください。異常作動したり破損して危険です。

お願い

- キーなどの錠に関する部品の交換は、お買いあげの販売店（工事店）にご相談ください。
- キーはメーカー純正のものをご使用ください。なお、キーの作製を行なうためには、キーNoが必要です。
キーNoは、英数字でキーに刻印していますので、「5 修理」の欄に控えてください。
- 鍵穴に油や異物を入れないでください。錠の操作ができなくなります。
キーがスムーズに動かなくなったら、錠前専用潤滑剤を鍵穴に注入してください。
油や市販の合成潤滑剤は、ホコリを吸着し、かえって動きを悪くしますので使用しないでください。
- 錠が凍結して動かなくなった場合は無理に動かさず、市販のスプレー式霜取り剤を使用してください。
- 門扉の付近で農薬や殺虫剤などの薬剤を使用する場合は、表面に付着しないようにしてください。表面が変色するおそれがあります。
- 降雪時は扉が積雪に干渉しない程度まで除雪してから使用してください。破損や故障の原因になります。
- 門扉を使用するときは車などにぶつけないようにしてください。

4 お手入れについて

(1) 汚れの取り方

- ①年に2～3回水洗いをして拭きとってください。
 - a.汚れが軽い場合は水で濡らした布で拭き、乾拭きをしてください。
 - b.汚れがひどい場合は、中性洗剤を薄めた液で汚れを落したあとで、洗剤が残らないようによく水洗いをして拭きとってください。

お願い

- シンナー、ベンジンなどの有機溶剤は使わないでください。材料が変形・変色したり、塗料がはげることがあります。
- ブラシは使用しないでください。キズがつくおそれがあります。

(2) キズの補修

- ①あやまってアルミにキズをつけた場合、弊社純正補修塗料で補修してください。放置すると腐食の原因になります。

5 修理

- 製品に異常が生じたときは使用を中止し、お買い上げの販売店(工事店)にご連絡ください。
- 修理に関するお問い合わせは、お買い上げの販売(工事店)または、「お客さま相談センター」にお問い合わせください。
- 修理を依頼されるときは、下記のことをお知らせください。

故障の状況	できるだけ詳しく	ご氏名	
製品名		ご住所	
施工日	年 月 日	電話番号	
施工店名		キーNo	



メモページ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CADデータなどの各種情報は、上記オフィシャルサイトからご確認ください。

会社や商品についての情報のご確認は、LIXILオフィシャルサイトまで

<http://www.lixil.co.jp/>

商品についてのお問い合わせ・部品のご購入は、お客さま相談センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00 土・日・祝日 9:00～17:00(ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く)

TEL. ☎0120-126-001 FAX.03-3638-8447

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00(祝日、年末年始、夏期休暇等を除く)

TEL. ☎0120-413-433 FAX.☎0120-413-436

<http://www.lixil.co.jp/support/>

※当社は、当社商品のユーザー様及び流通業者様等の皆様の個人情報を商品納入や商品保証書を通じて取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンスその他の目的のために利用致します。当社の個人情報の取り扱いについて詳しくは当社ホームページの「プライバシーポリシー」(<http://www.lixil.co.jp/privacy/>) をご覧下さい。

取説コード

UD062

CWA600021C
200403A_1006
201603D_1047